

R3年度 自己評価 振り返り

コロナの収束を期待し、もう2年以上が経過します。そんな中保育も、感染予防対策だけでは終わらないように、子どもや保護者の事を念頭に置きながら、過ごしてきました。職員が各自1年を振り返った内容をご報告いたします。

- ① マスク着用での保育が続いている事で、子どもとのコミュニケーションはもちろんの事、保護者の方とのコミュニケーションの深め方や、伝え方を課題にしている声が多くあがりました。個々の様子の伝え方、また言葉が足りない事による誤解もあり、一番スキルアップしていききたい分野が保護者とのやりとりの仕方でした。昨年度も同様にあがっていた反省点なので、保育経験が多い少ないではなく、相手に伝わる印象の基本から見つめなおしていきたいと思いました。
- ② 今年度、発表会を再開するにあたり、かなりの話し合いが行われました。子どもの主体性について、少しでもくみとれる方法を考えた一年でもありました。2グループ制は、初めての試みでしたが、舞台上に少ない人数で発表することにより、いきいきしている子どもも多く、短い時間の中でも発表する楽しさを引き出せたという感触もありました。年長児からも内容を選んで嬉しかったという声もありました。
乳児クラスにおいても、おもちゃの選択制を多く取り入れながら主体性を重んじて遊べるよう心がけました。
- ③ 保護者や地域への発信としてホームページの見直しを行いました。事業内容を伝えるにあたり、写真を新しくしたり、園庭開放の情報なども含め、ホームページを更新することに携わる職員を増やし対応しました。内容について、もう少し具体的な育児の参考になるものを更新できるようにとの課題が残されました。
- ④ 個々の職員の研修はリモートを使って、今年度も多く受講する事ができました。個々の質を高めた上で、他者へ伝える研修報告の時間も以前より多くとるように意識したことで、報告書より伝える側も受ける側もイメージがふくらみ、よかったという感想が多かったです。個々の質から園全体への質向上に繋がられるよう努めていきたいと思えます。